

事業所名

通所支援事業所 sumire (児童発達支援)

## 支援プログラム

作成日

2025 年

1 月

1 日

法人（事業所）理念		事業を通じて地域社会に貢献するとともに、関わる全ての人の満足と幸福の実現に向けて常に考え行動する。 私たちはひとりひとりが家族や友人や地域の人たちとともに、社会の中で豊かな生活が送れることが好ましいと考えます。そのため私たちは障害福祉事業を拠点として、それぞれの個性が尊重され、心豊かに安心して生活できるような支援活動やネットワークづくりを目指します。					
支援方針		自閉症や発達障害またはその傾向にある方やそのご家族、支援者を対象とした包括的なプログラムの構造化を用いた支援を行います。そのために自由に意見を交わし、情報を共有し、チームとして力を合わせます。具体的な支援内容はつぎのとおりです。 ・ アセスメントからスタートし、その後も繰り返しアセスメントを実施していき、支援指導につなげます。 ・ 特性に常に注目し理解し、発達及び生活の連続性に配慮し、個別化された支援計画をもとに実施します。 ・ 構造化、ABA（応用行動分析）、PECS（絵カードコミュニケーションシステム）などの実証された方法で支援をします。 ・ さまざまな手立てを活用し、自分で気づいて自分で活動に取り組み、学んだことを場面に応じて活用し自立を目的とします。 ・ 保護者と協働し、それぞれの持っている情報を共有理解することで、同じ支援チームとして支援を提供できるようにします。					
営業時間		8 時	30 分	17 時	30 分まで	送迎実施の有無	あり（要相談）
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	こどもにわかりやすく構造化された環境のなかで、健康状態や生活習慣の形成に十分な配慮を行います。特性を軸に時間や空間を本人にわかりやすいように構造化し、日常生活における基本的な生活スキルの獲得に向けた療育を実施いたします。					
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる運動、姿勢の保持に向けての粗大運動や微細動作の習得に向けて支援します。感覚の特性を踏まえ、環境調整等の支援を行います。					
	認知・行動	個別のスケジュールでわかりやすい見通しをもって行動できるように支援します。物の機能や属性、形、色、大小、数等のさまざまな概念を学ぶことで認知行動に繋がるように支援します。適切な行動ができるように個別に環境を整えて支援します。					
	言語 コミュニケーション	受容、表出コミュニケーションの形態をアセスメントし、システムを整えて実施していきます。興味関心を活用した場面から始めてコミュニケーション能力の獲得に向けて支援します。必要に応じて絵カードコミュニケーションシステムを活用して様々な場面に般化していきます。					
	人間関係 社会性	個別活動と小集団活動を適宜組み合わせる支援を行います。社会性の段階に応じて機会を設定し、スモールステップで成功体験に繋がるように支援します。必要な手立て等を活用し集団生活に適應できるように環境を整えて実施していきます。好きな遊びのなかでスタッフが適切に関わることで周囲との関りに気づき楽しめるように設定していきます。					
家族支援		本人の状態と保護者のご希望に応じて療育の時間に同席していただけます。またきょうだいを含めたご家庭での困っていることがないか随時確認し、相談に応じトータルに支援していきます。事業所で達成したことを家庭に般化し安定した日常生活に繋げていきます。		移行支援		適正な就学や転園について一緒に考え、子どもの立場に立ったサポートをしていきます。子どもや家庭に関わる関係機関と連携を図りながら切れ目のない一貫した支援を包括的にしていきます。相談機関についても情報提供いたします。	
地域支援・地域連携		地域社会への参加、包摂（インクルージョン）の推進の観点を持ちながら、こども園等の併行利用や、外出支援プログラムで地域の資源や人との交流を進めていきます。地域の方に療育に対して理解してもらい、連携をはかりながら統一した支援をします。		職員の質の向上		スタッフの経験や職責に合わせて研修を計画し、専門性の向上に努めます。それぞれの専門性を発揮し、協力し合いながらチームアプローチによる支援を行います。	
主な行事等		平日は、比較的短時間での個別と小集団での療育が主なので、主に土曜日を活用して外出支援等の取り組みを実施いたします。様々な経験をし成功体験を積むことで自信に繋がり興味関心が広がるように支援します。手立て等を般化してこども園での行事参加に繋がるように支援いたします。					